

令和8年度 「現代の国語」学習指導計画

学科	全学科	学年	1	履修	必修
教科	国語	科目名	現代の国語	単位数	2
教科書名(発行所)	新編現代の国語(東京書籍)		副教材(発行所)	改訂版 アシスト常用漢字(数研出版) 新編現代の国語学習課題ノート(東京書籍)	
目標	① 言語活動に必要な基礎学力を身に付け、的確な表現力を養う。 ② 他者の考え方に触れ、思考力を伸ばし、よりよい生き方に結びつける。				

(注) 評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	話す・聞く	気になるニュース	・情報を整理し、内容や、構成に注意して話す。		○	○	7	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	随想	こそめスープ	・随筆を通じ筆者独自の考え方・感じ方を読み取り、自分に重ね合わせる。	○	○		7	
	6	評論	未来をつくる想像力	・評論を通じ、筆者の考える「社会」はどのようなものか、意見の根拠を理解し、主張をつかむ。	○	○		7	
	7	書く	文章の要旨をまとめる	・分かりやすい文章を書くことができるように、また、文章を的確に読み取る力を付けることができるよう、文章の要点を把握する。	○		○	5	
2	8	書く	文章の要旨をまとめる	・ //	○		○	3	
	9	随想	無彩色の色	・効果的な具体例を用いることで自分の考えを分かりやすく伝えることが出来るという工夫を知る。	○	○		7	
	10	随想	無彩色の色	・筆者の挙げる例や主張から日本文化の一部分の特色を理解する。	○	○		7	
	11	評論	水の東西	・表論文の対比構造に触れ、文化の違いを理解するきっかけとする。	○	○		7	
	12	評論	水の東西	・東西の比較を通じて筆者が何を主張したいのか読み取る。	○	○	○	6	
3	1	随想	鍋洗いの日々	・筆者の体験と、行動に注目する。	○			6	
	2	随想	鍋洗いの日々	・筆者の体験と、行動に注目する。これからの自分たちと重ね合わせる。	○	○	○	6	
	3	書く	職業調べ	・自分の希望を分かりやすく表現する。	○	○	○	2	

70

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25			65		5	5					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	①授業や課題に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												

令和8年度 「言語文化」学習指導計画

学科	全学科	学年	1	履修	必修
教科	国語	科目名	言語文化	単位数	1
教科書名（発行所）	新編言語文化（東京書籍）		副教材（発行所）	改訂版 アシスト常用漢字（数研出版） 新編言語文化学習課題ノート（東京書籍）	
目標	① 伝統的な作品を読み、言語感覚を磨き、我が国の文化、言葉の価値を尊重する。 ② 様々な文章を読み、感性を豊かにする。				

（注）評価の観点、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 （実習項目）	単元の目標 （具体的目標）	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	小説	とんかつ	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。	○	○		3	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	小説	とんかつ	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。会話や行動の描写に注目し、登場人物の状況、心情を読み取る。	○	○		3	
	6	古文入門	古文に親しむ 児のそら寝	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読みとる。	○		○	4	
	7	古文・随筆	古文に親しむ 絵仏師良秀	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・歴史的仮名遣いを理解し、説話の面白さを読みとる。	○		○	4	
2	8	小説	羅生門	・登場人物の心情の変化を読み取り、主題を考える。	○	○		2	
	9	小説	羅生門	・ //	○	○		3	
	10	小説	羅生門	・物語の表現上の特色を読み味わい、その効果を知る。 ・登場人物を自分に置き換えて主題を考える。	○	○	○	3	
	11	漢文入門	訓読の基本	・漢文を読むための基礎知識を身に付け、漢字、漢文が我が国の文化の根底にあることを知る。	○	○	○	3	
	12	漢文入門	五十歩百歩	・故事成語の元となった話を読み、その話が語られた意図を理解し、我が国で故事成語の果たす役割を考える。	○		○	3	
3	1	古文・随筆	徒然草 【亀山殿の御池に】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	3	
	2	古文・随筆	徒然草 【奥山に猫またといふものありて】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	3	
	3	古文・随筆	徒然草 【奥山に猫またといふものありて】	・随想に表れる作者の考えをとらえる。	○		○	1	

35

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25			65		5	5					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	① 授業や課題に取り組む意欲・態度 ② 定期テストの結果と提出課題												

令和8年度 「言語文化」学習指導計画

学科	全学科	学年	2	履修	必修
教科	国語	科目名	言語文化	単位数	1
教科書名（発行所）	新編言語文化（東京書籍）		副教材（発行所）	新訂 チャレンジ常用漢字（第一学習社） 新編言語文化学習課題ノート（東京書籍）	
目標	① 伝統的な作品を読み、言語感覚を磨き、我が国の文化、言葉の価値を尊重する。 ② 様々な文章を読み、感性を豊かにする。				

（注）評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 （実習項目）	単元の目標 （具体的目標）	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	小説	雨漏りの音	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。	○	○		3	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取り組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	小説	雨漏りの音	・文章の種類を踏まえ、設定、構成、表現の特色をとらえる。会話や行動の描写に注目し、登場人文角状況、心情を読み取る。	○	○		3	
	6	古文・物語	伊勢物語(芥川)	・古文を学ぶことで我が国の文化の継承、創造について理解する。 ・古典作品における和歌の重要性と、物語における効果を読みとる。	○		○	4	
	7	古文・物語	伊勢物語(筒井筒)	〃	○		○	4	
2	8	漢文	論語	・漢文を読むための基礎知識を身に付け、漢字、漢文が我が国の文化の根底にあることを知る。 ・各章の意味を的確に理解する。 ・論語の思想が日本文化にもたらした影響について理解する。	○	○		2	
	9	漢文	論語	・ 〃	○	○		3	
	10	小説	夢十夜	・物語の表現上の特色を読み味わい、その効果を知る。 ・登場人物を自分に置き換えて主題を考える。	○	○	○	3	
	11	小説	夢十夜	・ 〃	○	○	○	3	
	12	随想	「美しい」ということ	・随想の主題を的確に捉え、筆者の主張を理解し、自身の考えを深める。	○		○	3	
3	1	古文・紀行	おくのほそ道	・紀行文の読解を通じ、日本の伝統文化の根底にある芭蕉の美意識について知る。	○		○	3	
	2	古文・詩歌	折々のうた	・江戸時代から更に遡って日本詩歌の歴史を通観し、日本の伝統的な美意識に関心を深める。	○		○	3	
	3	詩歌	I was born	・現代の詩歌と古典的作品との比較を通じ、各時代における詩歌文学の意義を理解する。	○		○	1	

35

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25			65		5	5					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	①授業や課題に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												

令和8年度 「文学国語」学習指導計画

学科	全学科	学年	2	履修	必修
教科	国語	科目名	文学国語	単位数	2
教科書名(発行所)	標準 文学国語(第一学習社)		副教材(発行所)	新訂 チャレンジ常用漢字(第一学習社) 標準文学国語 学習課題集(第一学習社) 現代を読む はじめての評論文20選 三訂版(明治書院) 読解演習 はじめての評論文20選 三訂版(明治書院)	
目標	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				

(注) 評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	小説	チューク	・「少年」との交流による「私」の心理の変化と、チュークの死を受け入れるまでの過程を読み取る。	○	○		6	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとの課題 口答による重要事項の確認 授業に取組む姿勢、意欲、出欠 長期休業中の課題 定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	随想	真珠の耳飾りの少女	・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引き付けるための工夫について考える。	○	○		6	
	6	小説	相棒	・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名に込められた意味を考える。	○		○	8	
	7	小説	ナイン	・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。	○		○	8	
2	8	小説	夏の花	・歴史的事実を踏まえた作品に触れ、出来事を整理しながら、文学が事実をどのように伝えているか考える。 ・戦争の惨禍について描いた作品を読み、平和の尊さについて考える。	○	○		4	
	9	小説	夏の花	//	○	○		6	
	10	現代の詩	生命は そこにひとつの席が 食事	・詩の構成や比喩に注意して読み、自分と他者の関係性について、作者の捉え方、詩が提示するメッセージを理解する。	○	○		6	
	11	随想	花のいざない	・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。	○	○	○	6	
	12	小説	こころ	・登場人物の心情変化に注目し、作品の主題を理解する。 ・表現方法に注目し、その意味するところを理解する。 ・登場人物の行動の理由について、話し合う。	○		○	6	
3	1	小説	こころ	//	○	○	○	6	
	2	戦争と文学	ハグダッドの靴磨き	・登場人物同士の関係や心情を把握しながら読み、「僕」の発言の背景にあるものを理解する。	○	○	○	4	
	3	戦争と文学(詩)	わたしが一番きれいだったとき 死んだ男の残したものは	・詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ・ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。	○		○	4	

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25			65		5	5					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	①授業や課題に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												

令和8年度 「応用国語」学習指導計画

学科	商業科・生活福祉科・食物栄養科		学年	3	履修	選択	
教科	国語	科目名	応用国語	単位数	2	時数	70
教科書名（発行所）	国語表現（大修館書店）		副教材（発行所）	国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）			
目標	・進路活動や実社会での活動に向けて、漢字・語句・語彙力を確実に身につけ、さらに文章を中心とした表現能力を養う。また、ショートスピーチや小論文の作成・添削も行う。						

（注）評価の観点、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 （実習項目）	単元の目標 （具体的目標）	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	1. 書いて伝える(1)	レッスン1 整った文章を書く	整ったわかりやすい文の書き方を学ぶ。 ・表記と言葉 ・係り受け ・文末表現の統一 ・適切な敬語 ・話し言葉と書き言葉	○	○	○	14	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・提出物 ・定期考査 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5				2. 自己PRと面接	自分を他者にアピールする力を身につける。 ・人生を見つめる ・長所、短所を見つめる ・効果的な自己PR ・ショートスピーチ ・志望動機をまとめよう ・面接の準備（模擬面接）	○		
6	3. 書いて伝える(2)	読みやすく、わかりやすい文の書き方を学ぶ。 ・長すぎる文を短文に ・読点を効果的に使う ・あいまいな文を避ける ・接続表現でつなぐ ・文脈でつなぐ	○	○			○	14	
7			4. 書いて伝える(3)	小論文入門	小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方を学ぶ。 ・小論文とは ・小論文の作成	○	○		
8	5. 書いて伝える(4)	自分史の作成				自分の人生を振り返り、自分のことをより深く理解する。また、今後の人生の参考にする。 適切な情報を集め、読み取った情報を活用する。	○	○	
9			2	10	11		12	3	

70

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	20			65			15					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	20			65			15					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	20			65			15					100	10
評価の重点	①授業や課題・作品に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												

令和7年度 「文学国語」学習指導計画

学科	全学科	学年	3	履修	必修
教科	国語	科目名	文学国語	単位数	2
教科書名(発行所)	高等学校 標準 文学国語(第一学習社)		副教材(発行所)	国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版) 標準文学国語 学習課題集(第一学習社) 現代を読む はじめての評論文20選 改訂版(明治書院) 読解演習 はじめての評論文20選 改訂版(明治書院)	
目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

(注) 評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に学習に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 (実習項目)	単元の目標 (具体的目標)	評価の観点			配当 時数	主な評価方法
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
1	4	創作をする	物語を想像する	・物語性というものを文章や図を使い理解する。 ・図を使い自分たちも物語を発現できる体験をする。	○	○	○	6	・単元ごとの課題 ・口答による重要事項の確認 ・授業に取組む姿勢、意欲、出欠 ・長期休業中の課題 ・定期考査、実力テスト 以上を点数化し、総合的に評価する。
	5	現代の小説	旅する本	・短編小説の特色を理解する。 ・物語の展開と主人公の心情の変化を読み取る。	○	○	○	6	
	6	戦争と文学	バグダッドの靴磨き	・戦争と文学の関わりを考える。 ・登場人物の関係性を理解し、主人公の心情を理解する。	○		○	8	
	7	現代の小説	相棒	・登場人物とのやりとりをとおしてどのように主人公が成長していくのかを読み取る。 ・高校生と近い状況の主人公の成長を小説から読み取り、自分の経験に重ね合わせ考える。	○	○	○	8	
2	8	現代の小説	相棒	//	○	○	○	4	
	9	近代の小説	山月記	・登場人物の心情を表現に即して理解する。 ・主人公の内面と苦悩について考えを深める。	○	○	○	6	
	10	近代の小説	山月記	//	○	○	○	6	
	11	随想	真珠の耳飾りの少女	・「随想」というジャンルの理解をする。 ・筆者の見聞の内容と、感想を読み取り、読み手を引きつけるための工夫について考える。	○	○	○	6	
	12	現代の小説	卒業	・登場人物とのやりとりをとおしてどのように主人公が成長していくのかを読み取る。 ・これから社会にでていく高校生が、自分の将来を想像しながら理解を深める。	○	○	○	6	
3	1	小説	卒業	//	○	○	○	6	
	2	創作をする	テーマを決めて短歌・俳句を作る	・同じ題材で短歌、俳句を創作し、表現方法を工夫する。 ・主体的に気持ちや情景を自由に表現をする。		○	○	6	
	3	詩歌	汚れつちまつた悲しみに…	・表現の特色をとらえられるようにする。 ・解釈の多様性について考える。	○	○		2	

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技・小テスト	ノート・レポート	課題・作品	発言	プレゼン	検定・資格	その他	観点別合計	評価の比重
Ⅰ 知識・技能	25			65		5	5					100	70
Ⅱ 思考・判断・表現	25			65		5	5					100	20
Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度	25			65		5	5					100	10
評価の重点	①授業や課題に取り組む意欲・態度 ②定期テストの結果と提出課題												